



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida



世界に希望を生み出そう

RI会長 **ゴードン R. マッキナリー**

第2570地区ガバナー **高丹 秀篤**
第3グループ
ガバナー補佐 **齋藤 栄作**

希望を語ろう We are Rotary, together

第3076例会 2023. 8. 2

—— 会員増強推進月間 ——

天候 晴 (NO. 60-05)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 山口君、安藤君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 ☎357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和 安藤職業奉仕委員
- ・卓話 (イニシエーション・スピーチ)
秦 誠会員 原島伊佐夫会員

【会長報告】

毎日暑い日が続きます。外作業等十分お気をつけてなさって下さい。

7/29の隅田川花火大会は100万人の人出。飯能夏祭り7/15・16もすごい人でした。コロナが怖くてマスクは外さずに居ました。

一昨日、間邊会員のお宅にお見舞いに行きました。6月6日から一年が経ち、リハビリを経てだいぶ喋れるようになり、午前中は俳句やカラオケをされているとのこと。皆様によろしく。12月には復帰したいとのことでした。

今月末はガバナー補佐訪問、公式訪問です。「入会3年未満の会員」との懇談会には23日に入会される方も含めて必ず参加して頂きたい。また、公式訪問では「クラブの活性化」をテーマにグループディスカッションを行うという高丹ガバナーのご意向でしたが、日高と合同開催のため、それは困難だということを清水会長が補佐に伝え、従来通り、五大奉仕の発表となりました。発表には活性化のテーマを入れて欲しいとのことです。五大奉仕の委員長の皆様、よ



ろしくお願い致します。

秦さん、原島さん、今日は是非ご自分をPRして、メンバーとの信頼関係を深くして頂き、ロータリーライフに新しいネットワークを作って頂きたいと思います。

【幹事報告】 大崎副幹事(代役)

第3回理事会: 前回議事録、承認。10月のプログラム、承認。夜間例会、承認。公式訪問は制服ネクタイ着用。3年未満の方は懇談会への参加をお願いします。



【委員会報告】

◎前年度幹事 市川君
「年次報告書」本日中に印刷に回しますので、帰り際に事務局にご提出下さい。

◎親睦活動委員会 坂本君
10/18夜間例会は点鐘17時30分に変更。健康と笑いの公演を落語家・柳家三之助師匠にお願いしています。

【出席報告】 MU・無届欠席0 山川出席向上委員

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
64名	4名	53名	82.81%

【結婚・誕生日祝】

坂本親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう

大木君、増島君、田辺君、和泉君、小川君
土屋君、吉田(行)君、吉澤君、中里(忠)君
大崎君、加藤君

◇結婚記念日おめでとう

小谷野君



- ◇会員誕生日おめでとう
吉澤君、天ヶ瀬君、高橋君
- ◇夫人誕生日おめでとう
永安寺夫人、市川(昭)夫人、中里(忠)夫人
大野(康)夫人、山川夫人、小谷野夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・入会記念日お祝い有難うございました。
大木君、土屋君、小川君、吉田(行)君
加藤君、中里(忠)君、吉澤君
- ・妻の誕生日お祝い有難うございます。
山川君、中里(忠)君、大野(康)君、市川君
永安寺君
- ・誕生日祝い有難うございます。高橋君、吉澤君
- ・会社の人事の件でお知らせを送らせて頂き、
沢山のロータリーの方々から温かいお祝いの
言葉などを頂きました。皆様方の益々のご指
導お願い致します。本当にいつも有難うござ
います。 鈴木(勝)君
- ・仕事が長くなり前回欠席となってしまうま
まません。 本間君
- ・原島さん、秦さん、イニシエーション・スピー
チ有難うございます。今日はよろしくお願
いします。 高橋君、沢辺君
- ・大学院1年砲丸娘、日本グランプリ田島記念
大会15m74、シーズンベストで優勝です！
大野(康)君

本日計46,500円、累計額108,500円。

◎23日例会当番は新井、天ヶ瀬会員です。

【卓 話】

講師紹介 大崎プログラム委員長
今年度は新入会員の方全員にイニシエーション・スピーチをお願いする方針で、本日はその第1弾です。よろしくお願ひ致します。

イニシエーション・スピーチ

飯能RC 秦 誠 会員
飯能RC 原島伊佐夫 会員

■秦 誠 会員

昨年3月に、公私共にお世話になった高橋さんのご紹介でお仲間にならせて頂きました。

S 55年生まれ、43歳。出身は北京です。家族は、結婚20年の妻と息子2人です。何も不自由のない幼少期には、大好きな数学と将棋を



して過ごせました。

10歳の時に、慕う父親が心筋梗塞で突然死。数年後に母が再婚しました。裕福な暮らしから転落し、家族団欒から一人ぼっちになった少年時代でした。いつか元の生活になりたいというのが自分の原動力ではないかと思っております。

飯能に移住したのはH27年と記憶していません。翌年、不動産賃貸業を営む会社を創業し、今年8期目となりました。

H14年に大学を卒業して創業するまでの間、長くメーカー系のIT企業に勤めていました。私は、H21年に日本国籍を取得した後、当時勤める会社から上海でのITコンサル部門の新規立ち上げを命じられ、H22年から上海での海外赴任となりました。現地採用を通じて人材を集め、工場のIT基盤の構築をコンサルタントから導入までサポートする態勢を一から作り上げました。当時、サービス対象のお客様は日本から中国へ工場を移転する計画をする日本企業と、すでに稼働中の中国工場を東南アジア諸国に移転する日本企業の2種類で、数的には約半々でした。そこから約5年間、日本や中国各地、ベトナムやタイをはじめとする東南アジア諸国を飛び回り、たくさんの方を訪ねて工場長や経営者の方にお世話になりました。

H27年頃、日本への帰国を機に区切りを付けて退職し、自分で事業を始めました。以来、利用しにくい建物を利用しやすいように再生し、事業者様に使って頂くことを実践してきました。内装業者や設備業者等、不動産再生において信頼のできる仲間も徐々に周りに集まってきました。H28年に取得した1棟目から、平均1年半で1棟のペースで、ゆっくりと保有物件を拡大してきました。現時点では全物件が満室です。各種テナント物件の提供を通じて、地域に寄り添い、貢献できる企業であり続けたいなど思っております。「勝つよりは、負けない」と考えて、いつも自身の状況が分かるように月次決算だけは創業当時から実施してきました。貸ビル、貸ホテル、貸家等、利用形態は多岐にわたりますが、いずれも適切にメンテナンスをしながら長期保有に徹し、キャピタル・ゲインは考えておりません。

プライベートでは普段、宗教史、家紋や風水等、雑学の研究を楽しんでいます。事業を起こす前後には風水にハマリ、関東で事業を起こすには「飯能は風水的に良いスポットの一つ」と結論付けたのが飯能に移住した理由の一つでもありました。

これからも皆様のご縁を大切に、この地域に少しでも貢献できるように頑張りたいと思っております。今後共よろしくお願ひ致します。

■原島伊佐夫 会員

飯能信用金庫の原島でございます。歴史のある飯能RCでイニシエーション・スピーチをさせて頂きますこと、誠に光栄に存じます。どうぞよろしくお願ひ致します。

「天に軌道のある如く、人それぞれに皆さん運命というものをもっております。人生というの



は当たるも八卦当たらぬも八卦。人生どうなるか分からない。これが人生の醍醐味でございます。特に本日お集まりの皆様方、男性の方、顔を見ますと女難の相が出ております。ご婦人のお集まりになるところに行く時には是非ともお気をつけ頂きたいと思っております。

これは皆さんご存じ、映画『男はつらいよ』で渥美清さん演じる「寅さん」が映画の中で話したことです。私の人生もこれをもじって話しますけれども、お聞き頂きたいと思っております。

わたくし、生まれも育ちも飯能。東神森（とうかんもり）で産湯を使い、姓は原島、名は伊佐夫、人呼んで“はんしんのハラさん”と申します…と、こういきたいところなんですけれどもちょっとだけ違うんです。

私はS 40年に生まれました。東京オリンピックの翌年です。戦後も25年経ち、そろそろ景気復興という時代で、いざなぎ景気の最初の年に当たるわけです。当時のことを皆さん思い出して頂きますと、加山雄三さんの「君といつまでも」、北島三郎さんの「兄弟仁義」が大ヒットした年。首相は佐藤栄作さん。“巨人・大鵬・卵焼き”で有名な大鵬関が1年に3回優勝した年でした。そのような時代背景の中、私は市内柳町で育ちました。場所は東飯能駅から中央通りを飯能信用金庫・飯能中央支店の方に向かって歩いて約7分の左側。昔「東飯（とうはん）衣料」というお店をやっておりました。自宅の前は深田屋さんという金物屋さんの資材部。道を渡って反対側がオケダさんという毛糸屋さん。その隣は高野おもちゃ屋さん。その隣が確か傘屋さんだったように記憶しています。私の家の左は松林堂というお菓子屋さんで、その隣は武蔵野銀行。そしてその隣は町田屋さんというお魚屋さん。広小路の町田屋さんのご親戚だそうです。その隣が町田電気屋さん。その隣がフカザワ帽子屋さん。その隣が現在の東和銀行。昔は大成相互銀行と言っていました。私の家の右は大野材木。村野さんという方が材木をやっていました。ご記憶のある方も多いのではないのでしょうか。私はそのようなところで育ちまして、幼稚園は飯能幼稚園に通いました。担任の服部先生は今のご住職のお母様に当たるのでしょうか。

S 46年、飯能第一小学校に入学。同時に飯能研修学院、大浦先生のところにも通い始めました。しかし、その年の5月、自分の不注意で交通事故に遭ってしまったのです。場所は自宅前、高野おもちゃ屋さんの前で車に轢かれました。大腿骨骨折、内臓打撲。当時、献身的な地元先生、木川先生に足を繋いで頂きまして、内臓については双柳に長又という先生がいらっしゃいまして、長又先生の先生に助けをもらって一命を取り留めました。本当に献身的な看病を頂き本当に感謝しております。今こうやって話せるのも先生方のお蔭でございます。有難うございます。あとで聞いた話なのですが、事故を目撃した人は、あの少年は（小学校1年生ですから）助からないのではと思ったそうです。治療のために入院を余儀なくされ、その年はほ

ぼ学校に行きませんでした。本来なら出席日数不足で小学校1年生で留年ということでございますけれども、当時の担任の先生が、授業が終わってから自宅に来て勉強を教えてくださいました。そういった良い時代だったと思うのですね。お蔭様で2年生に進級することが出来ました。本当に感謝しております。

小学校4年生になると富士見小学校が市役所の後ろにできました。飯能一中のグラウンドは非常に大きくて、その中に市役所ができ、富士見小ができたわけですが、そちらの小学校に通い始めました。

そして、飯能一中に進学。今の体形からお分かりなると思いますが、スポーツはダメです。球技ダメ、走るのダメ。しかしながら、ある友人との出会いが私にスポーツへの道を開いてくれました。

当時、テレビでは武田鉄矢さん演じる「金八先生」が話題で、中学校では不良の生徒が暴れて社会問題になっていました。ある中学校には機動隊が入ったという話もありました。私の学年にも番長と呼ばれる青木君というのが居りまして、私の存在は青木君から考えて5番目位なので「子分No.5」というところでした。その青木君から「水泳部に入ろう」と言われたわけです。もちろん番長からのお誘いですから有無を言わず水泳部に入部しました。今の時代なら間違いなくパワハラ、いじめになるのでしょうかけれども当時はそんなこと関係ないですね。先生も生徒を殴っていましたから。

水泳部の活動は非常に厳しく、顧問の内田先生は聞きしに勝る厳しい方でした。放課後、毎日泳ぎました。来る日も来る日も、夏休みも、25mプールを行ったり来たり、泳ぎました。もちろん何度もやめたいと思いましたが。ただ、先生は左利きで、左ビンタをするんですね。先生の左ビンタと番長の誘いを断るのが怖くて、結局3年間水泳を続けることになりました。

1年目は結果が出なかったのですが、2年になった時に転機が訪れました。しかもそれは単なる偶然でした。埼玉県西部地区大会で、先輩が出場するはずだった200mバタフライに私が出ることになったのです。今のお子さんのようには体のできていない時代ですからバタフライで泳ぐこと自体厳しかった。200m泳ぐとプールから上がって歩けなくなる位カロリーを消費する種目でしたから、先輩が居ないからと言って進んで泳ぐ気にはなれなかったのですが、怖い先生の命令ですからあえて出場しました。結果、ほんのタッチ差で「2番」という成績をおさめることができました。単純な私はその時に「努力は報われる」「やればできるんだ」と勘違いを致しました。そしてさらに練習を続けたわけでございます。いよいよ本選。単純な人間の勘違いほど強いもの、怖いものはございません。気づけば埼玉県大会で決勝にまで残り「第6位」で入賞することができました。そのことで私は、実は水泳を頼りに高校に進学することになりました。

高校は水泳部のある入間市の狭山ヶ丘高等学校です。最近では昨年も東大へ2名合格したりして進学校として有名になっておりますが、私の通う時代はそんなことはありませんでした。勉強よりもスポーツ、スポーツよりも武闘派。ケンカも日常茶飯事でした。黒の学ランが一般

的でしたが、学ランに細工ができないように、私が入学する時には紺色の制服に変わりました。それを考えても非常に怖い学校だったように思います。水泳部以外の運動部の先輩でも挨拶で「押忍」を言わないと、すれ違う時にパンチや蹴りが飛んできました。今の時代では考えられませんが、まさに映画『嗚呼!! 花の応援団』のような状況。高校生なのにタテ社会の厳しい中で3年間過ごしました。その水泳部も3年間やり遂げました。結果は一番良い時で200mバタフライで埼玉県下2位までいったのですが、その時に「これが限界かな」と思ってしまったのです。そう思った時から練習を時折サボるようになりました。県で1番は同じ学校の先輩で、リレーでも、予選には私が出るのですが、決勝に残るとその後輩が出るので、非常に気持ちが複雑だったのを覚えております。

高校3年になり、進路を決めないといけない時期になりました。元々怠惰な私は「まだ働きたくない」というふざけた理由で進学を希望。部活を引退したのは夏の終わりの9月で、全く勉強はしておりませんでした。受験するも悉く失敗。たくさん受けたので、受験料だけで親に30万円を出してもらいました。最後、もう浪人かという時に、八王子の杏林大学経済学部に拾ってもらって入学しました。学生時代はアルバイトを行い、安酒を買って仲間と飲んでいました。トリスというウイスキーが安くて、よく割って飲んでいたのですが、悪酔いしてよく吐いていたのを覚えています。恋愛はしました。しかもたくさん振られました。片思いも多かったです。間抜けな学生だったと思います。

S62年、大学4年になり、いよいよ就職戦線。私の気持ちは、世界に羽ばたく企業に就職したいというものでしたが、一方で、自分の能力に自信のない気持ちもあり、「海外で生活するのは無理かな」という不安もありました(秦さん、すごいですね)。優柔不断な私は業種も決まらず時間だけが過ぎていきました。友人達はいろいろな企業に内定、就職が決まっていきました。例えば、富士通、ヤナセ、埼玉銀行、トヨタ、警視庁、等。気づくと私だけ就職が決まっておられませんでした。見るに見かねた母親が「地元の信用金庫に知り合いの人が居るから受けてみたら」と言うのでとりあえず行ってみようかなという気持ちで面接に出かけました。もちろん母の知り合いだからと言って特別待遇ではなく一次面接からのスタートです。そのため、ある程度、地元の信用金庫の仕事、規模、意義等を事前に学んで行きました。信用金庫と言っても金融機関。預金や貸出金等、銀行の業務とほとんど変わりません。しかしながら自分の中で、他の金融機関との一番の違いを考えた時、やっぱり地元根ざしている、地元密着している、地元貢献しなければいけないんだというイメージが強く残りました。一次面接の時に面接担当者の方が同じような話をしてくれました。目からウロコが落ちました。私は二次面接を受ける前に覚悟を決め、飯能信用金庫に入行することを決めました。受けようと思って資料を貰っていた他の会社を全てやめて、飯能信用金庫一本に絞る、必死になって信用金庫のことを調べ、面接に取り組みました。

お蔭様でS63年4月、飯能信用金庫に入行することができました。最初の配属店舗は現在

と同じ飯能中央支店。当時は本店営業と呼ばれておりました。この頃、私は一丁目の青年会に加入させて頂きました。

飯能信用金庫職員としての最初の1年間は店の中での見習いです。2年目に入り、初めて営業担当地区をもたせて頂きました。地区は東吾野、吾野、西吾野。地名で申しますと白子、平戸、虎秀、井上、坂石、坂石町分、南川、北川、長沢、坂元と、正丸までの事業所と個人宅を合わせて400軒、毎月訪問してお金を預かって印鑑を押して帰って参りました。そして4年半後、所沢支店に転勤となったわけです。

金融機関の人間、サラリーマンにとって転勤は宿命であり、必ずついて回ります。私は35年間で13回の転勤を繰り返し、昨年ようやく振り出しである飯能中央支店に帰ってくる事ができました。しかも支店長という職責とやりがいのある地位で戻れたこと、非常に嬉しく感じております。

このように振り返ってお話をさせて頂きますと、良いこと、改めねばいけないこと、3つの点に気づきました。1つ目は、勘違いでも何でもやればできる、努力は報われると思うことの重要性です。これは水泳で学びました。素質のない私でも1日に1万mも泳げば県の大会で決勝にまで出られました。しかしながら高校では途中で「これが限界かな」と感じ、努力を怠りました。これはいけません。今後はものごとについて限界と感じてもさらに一歩頑張ろうと考えます。2つ目は、親の意見と冷や酒です。就職の時、母親が飯能信用金庫を勧めてくれたことがまさにそうです。母は学のない人でしたが長年の経験で息子の幸せと適性を見抜いていたのだと思います。親と年長者の話すことはよく聞くべきであると思いました。冷や酒については皆様、同じ経験をされていると思しますので、あえてご説明することはないと思っております。3つ目は、人との出会い。小学校1年の担任の先生、中学時代の番長の青木君、怪我を治して頂いた先生方、厳しい部活顧問の内田先生、安酒を酌み交わしているいろんなことを話した大学の友人、飯能信用金庫を受験した時の面接官の方々、そして何より、本日お集まり頂いている皆様方。どの一つも現在の私にとってなくてはならない出会いです。一つ一つの出会いに感謝申し上げます。

最後に、歴史ある飯能RCに参加できますことに感謝を申し上げますと同時に、より一層、社会奉仕活動に頑張りたいと思っておりますので、皆様にたくさんのご指導ご鞭撻をお願いさせて頂きまして、これにて、原島伊佐夫のインシエーション・スピーチを終了させて頂きます。本日は有難うございました。

2023年9月のプログラム

(月間テーマ 基本的教育と識字率向上月間)

月 日	例会数	行 事 予 定	当 番 [担当委員会]
9. 6	3081	夜 間 例 会 点鐘18時	福 島 君 細 田(伸)君 [親睦活動]
9.13	3082	【四つのテスト】[結婚・誕生日祝] 卓話「飯能市空き家対策について」 飯能市建設部都市計画課 栗田孔崇様 移住支援室 室長	半 田 君 細 田(尚)君 [会員増強]
9.20	3083	例 会 取 消 (祝日週)	
9.27	3084	【ロータリーの友】 卓話「職業分類について」 飯能RC 職業分類委員長 小川晃男会員	本 間 君 秦 君 [職業分類]